



損保ジャパン記念財団 News

●発行者：財団法人損保ジャパン記念財団 〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1 損保ジャパン本社ビル3 7階
TEL03-3349-9570 FAX03-5322-5257 <http://www.sompo-japan.co.jp/foundation> Eメール:fvgrp3340@mb.infoweb.ne.jp

地域福祉の充実と支えあう地域社会の実現に向けて 「NPO基盤強化資金助成」を実施

平成16年度より、試行実施を重ねてきました「NPO基盤強化資金助成」ですが、今年度は平成14年度から16年度助成先を対象に募集し、全国54団体からの応募を受け付けました。

そして、平成19年11月28日に開催された選考委員会において11団体への助成が決定されました。いずれの団体も、地域のニーズに応えるために新たな事業を計画、あるいは既存の事業の拡充・サービス向上を計画しながらも、資金的な事情等で実行に移せないでいた団体ですが、本助成をきっかけに、計画の実現に一步を踏み出すことができました。(贈呈先は、以下の通り)

この助成事業は、当財団の「NPO法人設立資金助成」に次ぐ新たな事業として、設立された福祉系のNPO法人が、地域でより質の高いサービスを提供できるよう支援することで、地域福祉の充実を図り、ひいては地域で支えあう社会の実現を目指す事業です。

(各地の贈呈式の様子は、次ページ以降をご覧ください)

	団体名	申請事業の概要	助成金額 (万円)
1	特定非営利活動法人 なのはな	聴覚障害・重複障害者の就労支援・職業訓練事業として行っているクッキー・ケーキ製造、おこわ・漬物等の製造設備の整備	100
2	特定非営利活動法人 すだち	ひきこもりの若者たちのためにカウンセリングルームとして使用していた部屋を作業場にしてしまったため、新たなカウンセリングルームの増設と相談事業の復活	100
3	特定非営利活動法人 自閉症サポートセンター	発達障害児の療育教材として、微細運動を意識した調理関係の機器一式の配備および活動後の清潔、失禁等対応のため、洗濯機等の配備	100
4	特定非営利活動法人 結	狭隘となっていた「宅配配食事業」を担う中心「厨房」の改造、および、ひきこもり等の若者が居宅配食で高齢者・障害者と接することで福祉を学び、自立の道を歩めるようにする	100
5	特定非営利活動法人 わーくあーつ	精神障害者に特化した就労支援プログラムの提供。および成果を、精神がい者の採用を検討する企業に対して発表することを通して、就労の際に起こりうるリスクを体験し、就労に対する不安を払拭させる	100
6	特定非営利活動法人 愛和報恩会	新規事業として団子製造設備としての米子を練るミキサー、蒸気ホイラー、その他関連器具の購入。購入先の飯田製作所(東京都台東区)に、団子製造技術指導を受けながらH20/4~の本格生産を目指す	90
7	特定非営利活動法人 金曜グループ	障害を持つ方たちに仕事をする場を提供し、職員とともに調理や片付け等の仕事を行ってもらい働くことを通しての日中過ごせる環境、サービスの提供	60
8	特定非営利活動法人 ドリーム	脳卒中障害者の生きがい作りとして喫茶事業をしているが、あわせて障害の手癖育成事業に合わせたパソコン技術の習得	70
9	特定非営利活動法人 まつさく	リサイクルショップ運営をしているが、現在物置状態になっている作業所に収納スペースを確保することで、利用者である地域住民(障害者スタッフ)への、より一層の利便性を図る	100
10	特定非営利活動法人 マザーサポートの会	デイサービスにくる障害児・者たちへのパンの製造技術の習得。および外部販売に参加することによる、(自分たちの作った品物の)販売体験。オーブン等の設備は、施設内の小規模作業所を借用。	100
11	特定非営利活動法人 ゆうハート安芸の会	作業所を多目的に活用するための調理台の設置。および地域住民に季節料理・田舎料理を教えてもらうことを通しての地域交流	60

平成19年度 「NPO基盤強化資金助成」の 首都圏地区贈呈式を開催

1月21日（月）に平成19年度「NPO基盤強化資金助成」首都圏地区の贈呈式が、損保ジャパン本社ビル37階の損保ジャパン記念財団会議室で開催されました。

贈呈式には、首都圏贈呈先4団体のうち3団体から出席いただきました。選考委員長である板山賢治氏の選考概要の説明に続いて、選考委員の安藤雄太氏、関正雄氏からは選考を終えられての所感などのお話しを、また、損害保険ジャパン千葉支店長の浅野俊雄氏、西東京東村山市店リーダー奥川啓介氏からは暖かい励ましの言葉などもいただきました。

助成金の決定通知書の交付は、当財団の高宮洋一専務理事から、団体の皆様お一人お一人に手交させていただきました。

贈呈式終了後の交流会では、助成先の皆さんの活動についてうかがう中で、損害保険ジャパンとの新たなつながりの可能性も感じられました。



高宮専務理事



板山選考委員長



安藤選考委員



関選考委員

し、合計980万円の助成を行うことを決定した。同助成は小規模福祉団体の組織力を強化し、地域に根付いた事業活動を進めることにより、支援するものである。今回で4回目。千葉県の特定非営利活動法人自閉症サポートセンターなどに100万円から50万円を贈る。

**11福祉団体に
基盤強化資金
損保ジャパン財団
（佐藤正敏理事長）はNPO法人基盤強化資金として全国11の障害者・高齢者福祉団体などに対**

日刊自動車新聞（1/22）



NPO法人基盤強化助成 首都圏地区贈呈式開く 3団体に 各100万円 損保ジャパン記念財団

損保ジャパン記念財団
(佐藤正敏理事長は21日、
東京・西新宿の損保ジャパ
ン本社ビル会議室で、特定
非営利活動(NPO)法人
基盤強化助成の首都圏地区
助成金贈呈式を開催。千葉
県の「自閉症サポートセン
ター」、東京都の「結」、神
奈川県の「わくあーつ」の
3団体に、高宮洋一同記



支店 山田 村山 東支社 東京
支店 奥川 氏 支店 氏

念財団専務理事が助成の決定通知書を手渡した。
NPO基盤強化助成は、
小規模NPO法人の基盤強化を目的とした資金支援、NPO法人が組織力を強化し、地域での信頼性を向上させ、地域に根付いた持続的な事業展開できるよう支援しているもの。全国で毎年10件前後の助成をしており、4回目となる今回は11団体に助成。首都圏以外の地区については、損保ジャパン地区本部または支店が、1月末までに贈呈式を開く予定。

首都圏地区の贈呈式であり、さつに立つた高宮専務理事は、「損保ジャパン記念財団は今年の10月で30周年を迎える。福祉分野を中心に学術関係の助成等もっており、累計の助成金額は19億円に上る。その中でNPOに対する助成事業では、二つのプログラムを展開している。NPO法人として法人化する時に30万円の助成を9年間継続し、延べ739団体に約2億円助成。この約95%以上の団体が法人化して全国各地で活躍しており、支援者として大変うれしく思う。しかし、一過



高宮専務理事(左)から助成の決定通知書が手渡された

性の助成だけでは不十分で、できるだけ継続的に各団体に何らかの形で支援していきたいとの思いがあり、NPO基盤強化資金助成事業を開始した。4年目になるが、これまで32団体、2700万円の助成を1団体100万円限度に実施してきた。と、損保ジャパン記念財団の事業の概要とNPO基盤強化助成実施の経緯を説明。

また、「今回は、平成14年から16年度に設立した222団体に再掛けし、54団体から応募があり、その中から審査委員会での審議の結果、11団体・総額980万円の助成を決めた。私共財団としては、助成が1過性のものではなく、団体を励まし合ったり、何か支援できることについては継続性を重視してやっていくべきだろうと思っている。また、損保ジャパングループ全体で、福祉のより良い市民社会づくりに貢献していきたいと思っており、損保ジャパン本体を含むグループ全体の中で連携を取りながら、これからも活動を続けていきたい。今日参加の3団体の皆さんは極めて有意義な活動を展開しており、助成させていただけるこ

はわれわれとしてもありがたく、これを機にますます活躍し、日本の福祉向上のために力を発揮してほしい」と、今後のより一層の積極的活動を期待した。
【2007年度NPO法人基盤強化助成先11団体と助成金額】



支店 浅野 氏
支店 千野 氏

首都圏地区3団体に助成金贈呈 損保ジャパン記念財団、NPO法人基盤強化

勸損保ジャパン記念財団は一月二十一日、東京・西新宿の損保ジャパン本社で「NPO法人基盤強化助成」の首都圏地区贈呈式を行った。
この助成は、小規模NPO法人基盤強化を目的とした資金的な支援をする事業である。本事業は全国で毎年一〇件前後の資金助成をしており、今回は四回目の実施となる。
首都圏地区で助成を受けたのは、「自閉症サポートセンター」(千葉県、「結」(東京都、「わくあーつ」(神奈川県)の三団体。
他の地域では、「なのはな」(福島県)、「すだち」(茨城県)、「愛知報恩会」(富山県)、「金曜グループ」(愛知県)、「ドリム」(愛知県)、「まつさく」(大阪府)、「マザーサポートの会」(兵庫県)、「ゆうハート安芸の会」(高知県)の八団体が助成を受ける。
はじめに、同財団の高宮洋一専務理事が挨拶し、「今回は全国で一カ所、合計で九八〇万円の助成をさせて頂いた。
損保ジャパン記念財団は、昨年の十二月で三周年を迎え、福祉分野を中心に学術関係の研究助成等の

事業を続けてきた。累計助成金額は三十年で一九億円にのぼる。
今回のNPOへの助成事業は、NPO法人として法人化する時に三〇万円の助成金贈呈を九年間の事業として実施している。助成した約九五%以上の団体がすでに法人化をされて、全国各地で活躍をされている。財団の課題の第一点は、助成が一過性のものでなく、継続性を十分に考えていきたいということ。もう一点は、損保ジャパングループ全体で社会に尽くすことが出来ないかという点。この二点を課題として、連携をとりながら続けていきたい」と結んだ。

引き続き、板山賢治社会福祉事業選考委員長が選考概要を説明。「最近、障害者自立支援法ができ、同時に介護保険が運営されているが、大変難しい問題を抱えている。貴財団も、一過性ではなく、継続的に助成をお願いしたい。また、助成を受けた団体には、いい結果を出していただきたい」と述べた。

この後、高宮専務理事から、助成決定通知書が各団体に交付された。
引き続き、資金助成を受けた三団体から、活動状況が報告された。

11 社会福祉団体へ 980 万円助成

損保ジャパン記念財団

【助成先】(佐藤正敏理事長)は、NPO法人基盤強化資金として、全国11の障がい者・高齢者福祉団体などに1団体最大100万円、合計で980万円の助成を決定。1月21日は東京都新宿区の損保ジャパン本社ビルで首都圏の3団体に對する助成金贈呈式を開催した。

損保ジャパン記念財団(佐藤正敏理事長)は社会貢献活動の一環として「NPO法人基盤強化助成」を行っている。これは小規模NPO法人の基盤強化を目的に資金的な支援をし、NPO法人の組織力強化と地域での信頼性向上を図り、持続的な事業活動ができるようにサポートするのが目的だ。今回の助成では同財団が2003年から04年度にNPO法人設立支援をした222団体に公募し、応募があった54団体の中から11団体を決

首都圏地区助成金贈呈式を開く



【贈呈式で決定】高宮専務理事を渡す高宮専務理事(左)と、贈呈式に参加した団体関係者を囲んで

【贈呈式で決定】高宮専務理事を渡す高宮専務理事(左)と、贈呈式に参加した団体関係者を囲んで



交流会での意見交換の様子

NPO法人基盤強化資金を助成 損保ジャパン記念財団、首都圏贈呈式



あいさつする高宮専務理事

【贈呈式で決定】高宮専務理事を渡す高宮専務理事(左)と、贈呈式に参加した団体関係者を囲んで

【贈呈式で決定】高宮専務理事を渡す高宮専務理事(左)と、贈呈式に参加した団体関係者を囲んで

【贈呈式で決定】高宮専務理事を渡す高宮専務理事(左)と、贈呈式に参加した団体関係者を囲んで

【贈呈式で決定】高宮専務理事を渡す高宮専務理事(左)と、贈呈式に参加した団体関係者を囲んで

【贈呈式で決定】高宮専務理事を渡す高宮専務理事(左)と、贈呈式に参加した団体関係者を囲んで

【贈呈式で決定】高宮専務理事を渡す高宮専務理事(左)と、贈呈式に参加した団体関係者を囲んで

【贈呈式で決定】高宮専務理事を渡す高宮専務理事(左)と、贈呈式に参加した団体関係者を囲んで

【贈呈式で決定】高宮専務理事を渡す高宮専務理事(左)と、贈呈式に参加した団体関係者を囲んで

「NPO基盤強化資金助成」

各地区贈呈式の様子

首都圏地区以外の8つの助成先については、該当する損保ジャパンの支店等の協力を得て、助成先や支店会議室にて、それぞれに贈呈式を行いました。

こうして地域へ出向いての贈呈式は、助成先の様子を直接見ることでできる貴重な機会でもあり、損保ジャパンの社会貢献活動にも役立つものとして、今後もぜひ続けていきたいものです。

また、贈呈式の開催にあたり色々ご協力いただいた皆様には、この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当に、ありがとうございました。

助成金100万円を寄贈

損保ジャパン記念財団「なのはな」へ

損保ジャパン（東京都、十二）年度、NPOの法人（佐藤正敏社長）の関係財団化を資金的に支援する「NPO法人の活動を支援するNPO法人設立資金助成」事業を開始。さらに二〇〇四年から、毎年十件前後の「NPO記念財団（理事長・佐藤正敏）は、二十四日、聴覚障害者やろう重複障害者の生活に資する事業を助成する」として、本年度は五十四団体の応募の中から全国十一団体を、活動の実績や発展性などを基準に選定した。同法人は東北地域で唯一の聴覚障害者・ろう重複障害者のための共同作業所「なのはなの家」を運営するなどの事業が認められ、本年度のNPO基盤強化資金助成団体に選ばれた。



高宮専務理事から助成決定の通知を受ける佐藤所長（左）

活をサポートするNPO法人「なのはな」（福島市、大内幹雄代表理事）にNPO基盤強化資金として助成金100万円を贈った。同財団は一九九九年（平成



なのはなの作業所

福島民友（1/30）

福島にNPOに

100万円を贈る

損保ジャパン記念財団

損保ジャパン記念財団

は二十四日、聴覚障害者

ろう重複障害者を支援

するNPO法人「なのはな」

（福島市）に助成金

100万円を贈った。

同財団はNPO法人化

の際に助成した団体に、

基盤強化資金として再び

助成金を贈っている。今

年度の贈呈先に全国から

選定された。



高宮専務理事から助成決定通知書を受ける佐藤所長（左）

福島民報（1/25）

十一団体が選ばれた。贈呈式は市内の共同作業所「なのはなの家」で行われ、同財団の高宮洋一専務理事が佐藤敦子所長に助成決定通知書を渡した。

なのはなは、東北地方に聴覚障害者のための共同作業所がなかったことから、昨年十一月三十日に郡山市から移転。現在は会員約二十人が牛乳パックを再利用した紙すき製品や手芸品などを作っている。助成金は老朽化した作業所の改装費などに充てられる。



なのはなの皆さんと（福島市・1/24）

愛知県の助成先、「金曜グループ」と「ドリーム」につきましては、1月11日に損保ジャパン名古屋ビルにて、贈呈式を開催しました。

中日新聞 (1 / 12)

中村のNPO法人
ドリームなど助成
損保ジャパン財団
社会福祉団体の活動を
資金面から支援している
損保ジャパン記念財団

(東区)が本年度の助成
団体を決め、名古屋地区
の助成金贈呈式を十一
日、中区丸の内三の損保
ジャパン名古屋ビルで開
いた。

本年度は全国十一の障
害者、高齢者福祉団体な
どが対象で、県内からは
東郷町の特定非営利活動
法人(NPO法人)金曜

グループ(田島綾子理事
長)と中村区のNPO法
人ドリーム(郷内稔理事
長)が選ばれた。

損保ジャパンの安齋英
明執行役員名古屋支店長
が各団体の代表者に決定
し、脳血管障害者のための情
報誌発行などを充実させ

拝啓 歳寒の候、貴社ますますご隆盛の段、
お慶び申し上げます。
このたびはNPOの基盤強化資金の助成金
をいただき、誠にありがとうございます。
深く感謝いたしております。
貴社には、設立時にも援助をいただき、
き、障がいをもった方が地域で安心して暮
らしていくための事業をこれまで展開し
てきました。
今後は、なかよし弁当の事業をさらに
充実させ、地域のご高齢の皆さんに喜んで
召し上がっていただけるような心のこもった
お弁当を作りたいと思っております。また、
地域の皆さんとの交流を通して安心して暮
らせる地域づくりに参画して、更に貢献し
たいと考えております。
引き続きご支援ご厚情を賜りますようお願い
申し上げます。
敬具
一月十七日
特定非営利活動法人 金曜グループ
地域活動支援センター なかよしハウス
吉田 元 気丸

助成先「金曜グループ」(愛知県)からのお礼の手紙



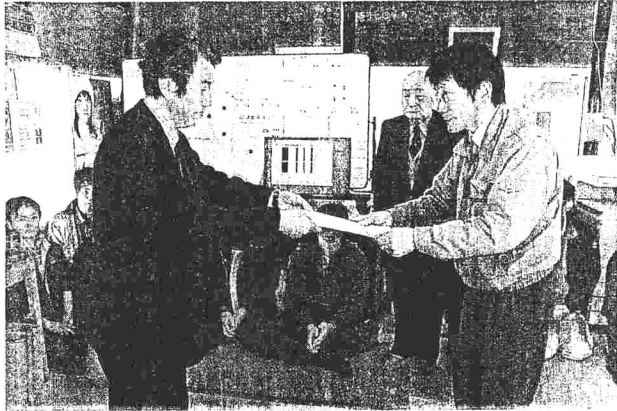
皆さんと記念撮影



贈呈式の様子

愛和報恩会 (富山県・1/15)

北日本新聞 (1/16)



高宮専務理事から通知書を受け取る吉田理事長 (右)



愛和報恩会(尾)を助成

損保ジャパン 90万円 通知書渡す

の「NPO基盤強化資金

助成事業」の助成先に、富山県で障害者支援の作業所やグループホームを運営するNPO法人「愛和報恩会」(同市八尾町西川倉、吉田勇次郎理事長)が選ばれ、十五日、助成先決定通知書が贈られた。

同財団は地域福祉の増進を目的に、平成十一年度からNPOを設立する団体に資金を助成している。四年前からは「NPO基盤強化資金助成事業」を開始。設立資金の助成先への継続的な支援として、百万円を上限に資金提供している。本年度は全国から五十四の応募があり、愛和報恩会など十一団体が選ばれた。

この日は、同財団の高宮洋一専務理事が愛和報恩会事務所を訪問。利用者十人も出席し、通知書の贈呈式が行われた。高宮専務理事は「地域福祉実践のリーダーとして、さらなるサービスの向上に取り組んでください」と話し、吉田理事長に助成金九十万円の通知書を手渡した。

吉田理事長は「有効に使い、今後も地域のニーズに応えたい」と話していた。

まつさく (大阪市・1/18)

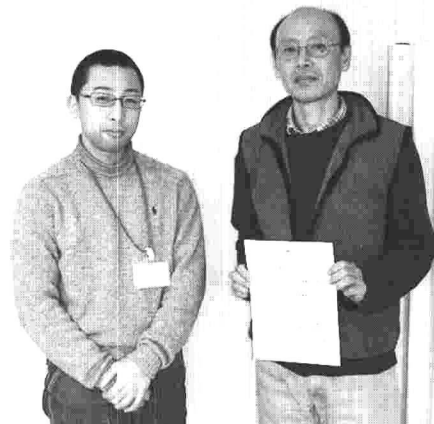


マザーサポートの会 (神戸市・1/18)





すだち（茨城県水戸市・1/18）



ゆうハート安芸の会（高知県安芸市・1/15）

寄付・寄贈
 損保ジャパンが
 NPOに60万円
 財団法人損保ジャパン記
 念財団（佐藤正敏理事長）
 は15日、NPO基盤強化資
 金助成として安芸市本町5
 丁目のNPO法人「ゆうハ
 ート安芸の会」（藤原速夫代
 表）に60万円を寄付した。
 同NPOが運営する共同作
 業所「ゆうハート安芸」の
 事業に役立ててもらおう。

高知新聞（1/16）



寄付のお礼

長田光平様より暖かい寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。
 当財団の事業は、皆さまからの貴重な寄付金により成り立っております。法人、個人問わず
 広く寄付金を受け付けておりますのでご協力をよろしくお願い申し上げます。